石岡市□□書館
昭和
55.8.26
第K210号
収受

市報
のいしおか
8月号

発　行：石岡市役所　編　集：企画室広報公聴係　印　刷：高橋印刷株式会社

—305—

市の人口
（8月1日現在）

世帯数
13,480世帯 3世帯増

人　口
男　23,842人　人増
女　24,515人　17人増
計　48,357人　17人増

石岡市民憲章

1. しごとに誇りをもち、栄えるまちをつくります。
1. きまりを守り、住みよいまちをつくります。
1. からだをきたえ、明るいまちをつくります。
1. 教養をたかめ、文化のまちをつくります。
1. たがいに助けあい、楽しいまちをつくります。

▼とじて保存しましょう▲

増え続ける少年非行
大事な家庭の役割

半年で少年一〇〇〇人当たり 六六人が補導されました

子どもたちが、心身ともに健康でたくましく育ってほしいと思うのは、すべての親の願いです。

ところが、こうした親の気持ちとは裏腹に、年々少年非行が増え続けています。

今年の上半期（一月～六月）の石岡警察署の資料によると、署管内の刑法犯少年補導は六十六人。昨年同期より二十三人増加（六十五％増）しております。

特に中学生以下の少年が四十二人と全体の六十三・六％を占め、年々低年齢化に拍車がかかってきております。

また、不良行為少年補導は、市内で七百二人。うち二十一人が女子。これは、市内の小学生から成人前の少年千人に対し、六十六人が補導された勘定になります。

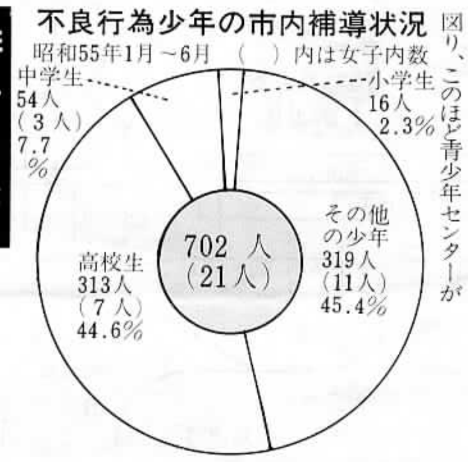
一方、数の面ばかりでなく内容においても、ごく普通の家庭の少年による非行が増え、凶悪犯や粗暴犯が増加するなど、多くの問題をはらんでいます。

このように悪質化、低年齢化する少年非行に対処するため、市では、これら窓口の一本化を図り、このほど青少年センターがオープン。五十名の青少年相談員を中心に指導にあたっております。

楽しい夏休みも残り少なくなってきましたが、一転して〝非行の季節〟とならないよう、家庭での親の役割を、あらためて考えて見たいと思います。

心身共に健全な育成をと……市内子ども会幹部講習開く
（市内小・中学生 220 人が参加されました。）

不良行為少年の市内補導状況



面接・電話相談のご利用を
毎週　火曜日・金曜日
午前9時～午後4時（昼休み除く）
青少年センター　電話（4）1198

非行の芽
早いうちにつみとろう

子どもは、ある日突然非行に走るのではありません。徐々に深入りし、この過程で、さまざまな非行への〝きざし〟が見られます。

そのためには、ふだんから子どもの生活を注意深く見守り、非行の〝芽〟を早いうちにつみとってしまうことが肝心です。

次に非行のきざしのいくつかをあげてみましょう。

▼ウソは非行化の赤信号
すぐわかるようなウソをついたり、親の顔をまともにみないで、あいまいな返事しかしない。ウソが露見しても平気になる。

▼成績が急激にダウン
得意な科目の成績まで目にみえて落ち、テストの結果も見せなくなる。

▼ふらりと外出する
目的のある外出ではなくて、「ちょっとそこまで」という外出がひんぱんになる。

▼親の知らない友だちが増える

▼服装や髪形をしきりに気にする
小遣いでは買えない高価なペンダントやブローチなどのアクセサリーをつけるようになる。

▼多額の小遣いを要求する

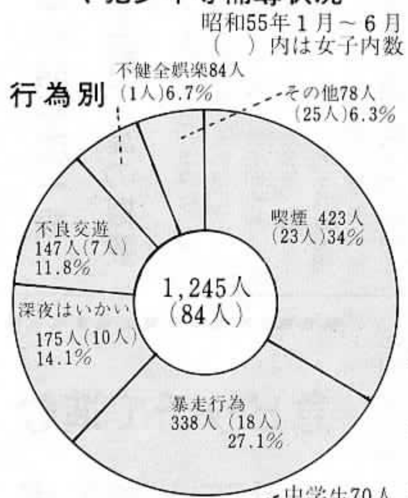
▼夕食をあまり食べない
食べ盛りで、空腹を訴えていたのが、食べなくなる。学校の帰りにスナックなどのたまり場に寄り道をしている場合が多い。

▼かくれてタバコを吸う
非行少年のほとんどが、最初の段階で喫煙する。ポケットなどにかくしていたり、ニオイがするから注意してみる。

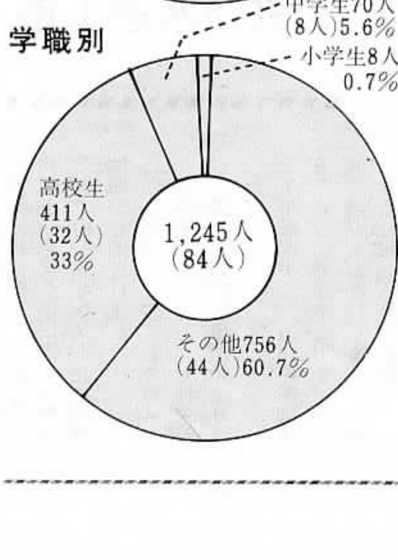
▼なげやりな言葉遣いが多くなる

ぐ犯少年等補導状況
昭和55年1月～6月
（　）内は女子内数

行為別



学職別



教育長に羽鳥誠氏就任

さきほどの六月定例市議会で教育委員として任命されました羽鳥氏が、このたび教育委員会の互選により、七月十七日付で教育長に就任いたしました。

羽　鳥　誠　氏　59歳
新治郡玉里村高崎七一六番地

行政相談員に鈴木氏が委嘱

当市担当の行政相談委員に、このたび、鈴木清氏が行政管理庁長官から委嘱されました。

行政相談委員は、国の行政全般（役所・公社・公団等）についての、苦情や要望・意見などを聞いて、その改善を図ることを任務としております。

市内総社二丁目8番9号
鈴木清宅　電話㈢　一三〇七

鈴木　清氏
（66歳）

青少年相談員になって
国府二　岩　瀬　と　み

石岡市青少年相談員制度ができ、初めて街頭補導に出た時、お巡りさんと一緒で、万引した子をお巡りさんが補導するという場面に立ち合う事になり、とにかく初めてなのでびっくり致しました。時には婦警さんの補導の仕方を見聞したり、コツコツと市内を歩き廻り、アルコール工場付近の空地や、そちこちの寺院の境内の中からシンナー遊びをした後の汚物を大きなビニールの袋一杯になるほど集めたりもいたしました。

世相も変わり物の考え方も違ってまいりまして、私達の育った頃の子供と現代っ子の間には三つの大きな違いのあることに気づきました。

その一つは、集中力の欠けていること、二つ目には、ものに耐えること、また頑張ってみるといった態度が見受けられないこと。三つ目は現代っ子は余りにも日常恵まれすぎていて感動することを知らないのではないかということです。

それにしても、日本人の変わりようは時代とともに大変なもので、近い将来、反省期がやってくるような気がします。

大事なものを忘れてはいないでしょうか。このところ各家庭とも兄弟姉妹が少なくなったこと、日常生活の合理化によって暇になった時間を利用し、パートなどの職につく母親たちがふえたので、子供の養育に対していろいろなひずみがでてきているように思われます。時代は変っても人間の本質には変わりはないと思います。ゆっくり聞く時間、語り合う時間が親子の対話に最も大切なことには違いないのにそれができない。口では言えるがなかなか実行することは困難でありましょう。けれどできるだけ子供と接する時間をとってほしいと思います。

非行が低年齢化し、色々な情報やほしい物がたやすく手に入る自動販売機等と、あまりにも青少年の心を刺激するようなものばかり出まわっているのは困りものです。これはひとえに私達大人社会に問題があるのではないでしょうか。時代の流れもあるでしょうが、はがゆいような家庭環境や社会環境が子供の心をゆがめていることも事実ではないでしょうか。毎日暗いニュースを聞くたびに胸がいたみます。

親の後姿を見て子は育つといいます。私も相談員の一人として常に反省しながら人様に迷惑をかけないように感謝の気持を持って、目立たぬ存在でコツコツと歩むことを信条にして一人一人の和をもって人間関係の結びつきを大切にしてまいりたいと思います。

市の財政事情書

石岡市告示第85号

わたしたちの市の財政状況（昭和54年度1月～3月・昭和55年度4月～6月）をお知らせします。

昭和55年8月1日　石岡市長　山本吉蔵

市の概況（55. 4. 1現在）

人口	47,989人
世帯数	13,306世帯
面積	63.34 km²

「財政事情書」とは

市の財政がどうなっているかを中心に、年二回に分けて、予算執行状況、市税負担や市税の構成など、市の行政のあらましを皆さんにお知らせするものです。

54年度一般会計決算の状況

歳入 8,492,900千円

- 706,740千円（今期内（1～3月）収入額）
- 719,238千円
- 214,842千円
- 1,298,900千円
- 256,960千円
- 64,377千円
- 72,865千円
- 86,336千円
- 市税 2,814,922千円
- 国県支出金 1,398,403千円
- 地方交付税 1,354,206千円
- 市債 1,305,900千円
- 繰越金 605,720千円
- 諸収入 462,759千円
- 地方譲与税 148,447千円
- 使用料手数料 139,111千円
- その他 263,432千円

歳出 8,049,297千円

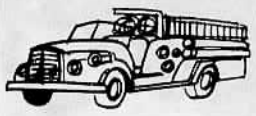
- 教育費 2,722,349千円
- 土木費 1,236,823千円
- 民生費 1,034,068千円
- 総務費 890,819千円
- 衛生費 751,717千円
- 公債費 407,126千円
- 農林業費 367,571千円
- 消防費 371,813千円
- その他 267,011千円
- 1,079,115千円
- 670,038千円（今期内（1月～3月）支出額）
- 365,031千円
- 275,249千円
- 229,500千円
- 193,726千円
- 222,463千円
- 119,479千円
- 122,060千円

教育費
2,722,349千円
府中小学校増築事業59,410千円
府中中学校増改築事業 101,975千円
城南中学校柔剣道場建設事業 54,946千円
図書館建設事業 469,378千円
公民館建設事業 309,662千円

農林業費
367,571千円
農業構造改善事業 92,130千円
地籍調査費 21,820千円
林道整備事業 15,200千円

土木費
1,236,823千円
市道整備事業 237,552千円
兵崎・大谷津線整備事業 51,489千円
公園事業費 51,891千円
市営住宅建設費 121,193千円
石岡駅こ線橋建設事業 186,270千円

消防費
防火水槽貯水池等整備工事 18,924千円
救急車・化学消防ポンプ車購入 17,240千円



衛生費
751,717千円
保健センター建設事業 100,424千円
ゴミ集収車等購入 9,353千円
工業団地環境整備機器購入 6,217千円

民生費
1,034,068千円
子供の遊び場整備事業 17,971千円
医療福祉費 159,103千円
老人福祉費 94,117千円
生活保護費 221,061千円

私たちの納めた税金 28億1,4922千円

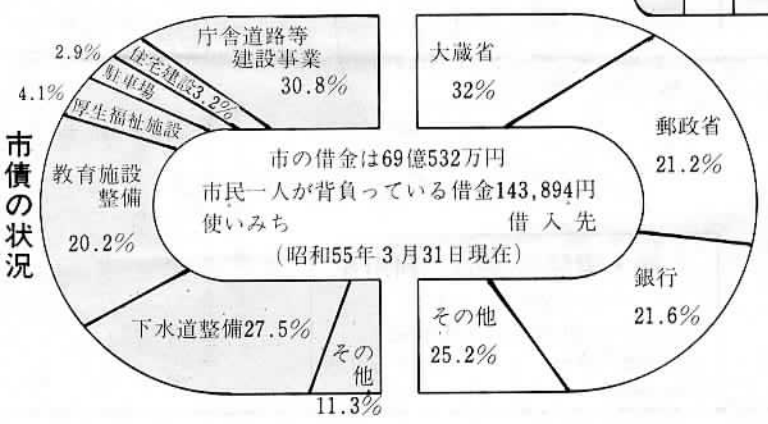
都市計画税	153,592千円
特別土地保有税	14,458千円
木材引取税	5千円
電気税	132,971千円
たばこ消費税	159,818千円
軽自動車税	15,455千円
固定資産税	1,044,575千円
市民税	1,294,048千円

昭和54年度特別会計の状況

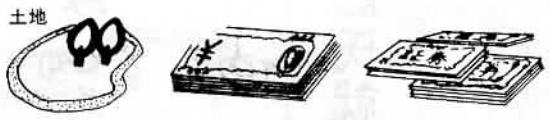
（単位：千円）

区分	予算現額	収入済額	収入割合(%)	支出済額	収入割合(%)
授産所	29,220	28,905	98.9	28,593	97.9
国民健康保険	1,264,600	1,307,345	103.4	1,195,129	94.5
簡易水道事業	10,000	8,634	86.3	7,267	72.7
下水道事業	1,118,800	1,114,741	99.6	1,111,406	99.3
駐車場	20,300	21,686	106.8	20,153	99.3

市債の状況



市のもっている財産



土地	基金・預金	出資金 有価証券
634,214㎡	777,425千円	40,189千円

昭和55年度特別会計 歳入歳出の状況

（単位：千円）

区分	予算現額	収入済	支出済
授産所	30,800	1,434	5,872
国民健康保険	1,440,000	359,604	127,888
簡易水道	10,450	2,270	409
下水道	1,318,000	3,391	19,995
駐車場	27,400	4,652	7,612

昭和54年度一般会計予算の概要

五十四年度当初予算は、歳入歳出それぞれ七十六億二千万円でしたが、その後七回の補正措置を行ないました結果、最終予算額は、八十二億九千八百万円となり、当初予算に対し、六億七千八百万円、八・九%の増加となりました。

今期内（一月～三月）補正した予算の主なものは、歳入では、市税一億六千万円、地方交付税一億五百万円、繰越金四千九百万円等が増加し、繰入金一億五千万円、国庫支出金一億二千二百万円、市債八千五百万円等が減少しています。

歳出では、民生費七百万円、労働費四千七百万円等が増加し衛生費四百万円、農林業費千百万円、土木費三千七百万円等が減少しております。

なお、昭和五十四年度決算については、上図のとおりとなっております。

昭和五十五年度予算及び執行の状況

今年度当初予算額は、歳入歳出それぞれ七十七億七千万円で前年度に比べて二・〇%の伸となっています。

今期（4月～6月）においては、二回の補正措置をおこないました結果、予算総額は、七十九億八千百万円と当初予算比二・七%の伸びとなっています。

補正措置の主なものは、歳入では繰越金九千三百万円、地方債六千万円、国庫支出金四千九百万円等であります。

歳出では、土木費八千四百万円、労働費八千二百万円、教育費千五百万円等でした。

また、今期内の収入済額は、市税など二十一億二千七百万円で対予算比二十六・六%、支出済額は、十五億四千万円で対予算比十九・三%の歳出割合となっております。

市指定の文化財決まる

市指定の文化財について、かねてより教育委員会で審議をしておりましたが、このたび次のとおり決定いたしました。

記号番号	名称及び員数	所有者氏名又は名称及び住所	所在地
22	大黒天像1体	宗教法人　平福寺 曽根田光章 石岡市国府五丁目9番3号	石岡市国府五丁目9番3号
23	風間阿弥陀1体	風間秀元 石岡市府中二丁目6番22号	石岡市府中二丁目6番22号
24の1	茨城廃寺礎石1号・2号・3号・4号	宗教法人　平福寺 曽根田光章 石岡市国府五丁目9番3号	石岡市国府五丁目9番3号
24の2	茨城廃寺礎石5号	平岡　清 石岡市府中三丁目7番21号	石岡市大字石岡5126番地
24の3	茨城廃寺礎石6号	宗教法人　清涼寺 曽根田俊雄 石岡市国府六丁目2番3号	石岡市国府六丁目2番3号
25	税所文書	山本吉蔵 石岡市国府一丁目2番15号	石岡市国府一丁目2番15号

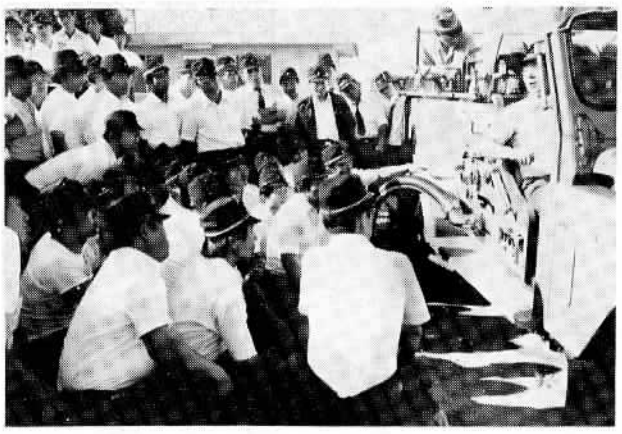
急ピッチで進む公共下水道工事

昭和四十九年度から始まった公共下水道事業も、これまでに約六十ヘクタール（管きょ埋設工事で約十五キロメートル）の地域が整備されました。

今年度は、約四・五キロメートルの施工を予定し、七月末から別図のとおり工事が始まりました。

工事期間中は、道路を掘削するため、交通規制などで、ご不便ご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。

まちのできごと

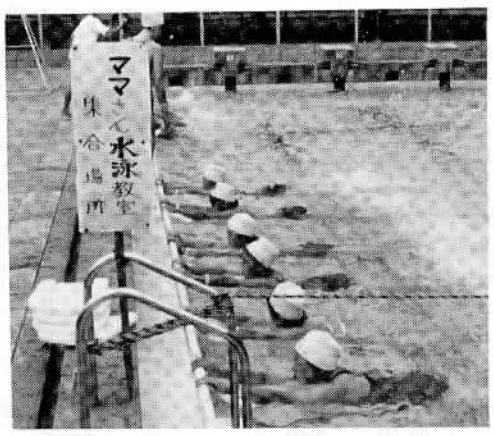


◀消防団員の夏期訓練行う

さる七月十三日、柏原工業団地内で、消防団員の夏期訓練が行われ、百二十名が参加。自動車ポンプの運用技術を中心に、災害防ぎょの基礎を習得、これからの火災シーズンに向けての災害活動対処への訓練を行いました。

▶ママさん水泳教室開く

さる7月28日～8月1日の5日間、市民プールにおいて、泳げないママさんを対象に水泳教室が開かれ、30人のお母さんたちは津久田喜代枝・佐口優子両先生の指導のもと、最終日には全員泳げるようになりました。



◀交通安全に……チャリティバザー開く

さる七月二十日、女性ドライバー友の会石岡支部（中川照子会長、会員五十一名）では、交通安全にと歩行者天国で、チャリティバザーを開きました。これら益金は今後、老人や子供の交通安全教室に役立てていきます。

歳入　昭和55年度一般会計予算の状況

（単位：千円）

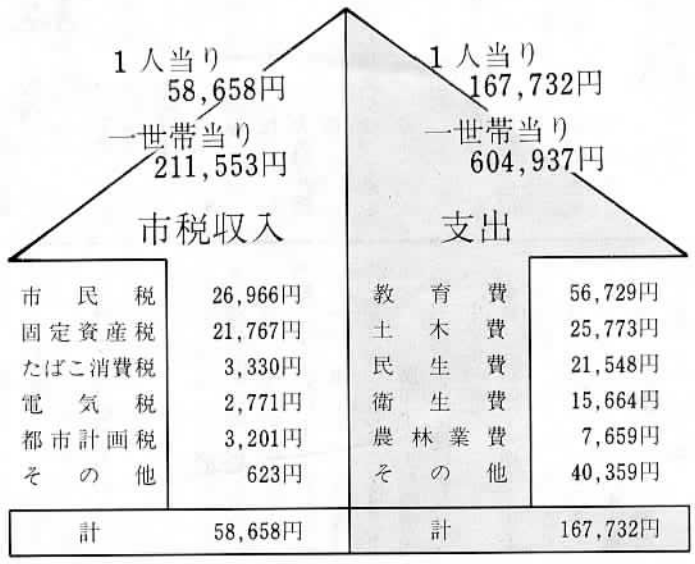
科目	当初予算額	今期内（4月～6月）増加額	予算現額	収入済額	予算に対する収入割合
市税	2,926,000		2,926,000	836,086	28.6
地方譲与税	148,300		148,300		
自動車取得税交付金	88,900		88,900		
地方交付税	1,270,000		1,270,000	596,250	46.9
交通安全対策特別交付金	7,000		7,000		
分担金及び負担金	115,450		115,450	18,596	16.1
使用料及び手数料	145,840		145,840	33,640	23.1
国庫支出金	1,264,810	48,550	1,313,360	108,776	8.3
県支出金	301,420	9,200	310,620	23,815	7.7
財産収入	40,525		40,525	3,176	7.8
寄付金	1,006		1,006		
繰入金	50,000		50,000		
繰越金	180,000	93,350	273,350	444,602	162.6
諸収入	372,149		372,149	61,890	16.6
市債	858,600	59,900	918,500		
歳入合計	7,770,000	211,000	7,981,000	2,126,831	26.6

歳出

（単位：千円）

科目	当初予算額	今期内（4月～6月）増加額	予算現額	今期内（4月～6月）支出済額	予算に対する支出割合
議会費	155,057		155,057	41,755	26.9
総務費	939,843	15,600	955,443	186,413	19.5
民生費	1,192,537	1,980	1,194,517	246,157	20.6
衛生費	699,239	120	699,359	159,659	22.8
労働費	307,954	82,360	390,314	152,005	38.9
農林業費	326,773	11,010	337,783	30,497	9.0
商工費	54,720		54,720	9,795	17.9
土木費	1,342,574	84,470	1,427,044	76,660	5.4
消防費	432,256		432,256	86,801	20.1
教育費	1,775,313	15,460	1,790,773	505,238	28.2
災害復旧費	3		3		
公債費	523,730		523,730	44,647	8.5
諸支出金	1		1		
予備費	20,000		20,000		
歳出合計	7,770,000	211,000	7,981,000	1,539,627	19.3

市税負担額と還元額



市史編さんだより (31)

篠目八郎兵衛家の史料探訪

専門委員　佐々木　弘　安

去る五月二十四日、市史専門委員一同は、市史中巻（史料集）の史料探訪のため、市内高浜の篠目八郎兵衛家を訪問しました。

篠目家は、高浜の旧家で、代代、八郎兵衛を襲名し、江戸時代には、高浜村の名主をつとめている。

そして安永三年（一七七四）の霞ヶ浦・北浦沿岸の高瀬舟問屋株運上の請書には、「高浜河岸、吉兵衛、八郎兵衛義は、壱人ニ付永壱貫文宛、七右衛門、吉次郎、安右衛門、平左衛門義は、壱人ニ付永百五拾文宛、都合永弐貫六百文」と記されているから、篠目八郎兵衛家が、江戸時代、安永三年には、すでに霞ヶ浦と江戸とを結ぶ水運・回漕業に従事していたことがわかる。

当時、高浜河岸には、篠目家を含む六軒の高瀬舟廻船問屋があり、石岡周辺のいわゆる山根五十三ヶ村から出荷された薪炭竹材、米穀をはじめ、石岡の酒醤油などを江戸に回漕し、また塩・干鰯などをもたらすことによって繁盛していたのである。

明治時代になると、篠目家は内国通運会社の経営に参与し、高浜港に、常陸高浜汽船荷取扱所篠目汽船部を設け、蒸汽船・通運丸を使用した水運業を経営している。その活況の有様は、『利根治水論考』に「……高浜入に往来する者、日夜定期の輪船（外輪蒸汽船）あり、土浦入古渡入にも船便あれど、高浜往来を主要とす」と記されたことからもうかがえる。

さらに、篠目八郎兵衛氏（弘化元年（一八四四）生れ、明治二十八年没）は、明治十四年と明治二十一年から明治二十四年に茨城県議会議員となり県政の発展に尽力し、また、明治二十九年に開通するに至った常磐線の高浜駅設置のために努力したことでも知られている。

これらのことから知られるように、篠目八郎兵衛家所蔵の文書の中には、江戸時代の高浜村の名主関係の文書や、水運業関係の文書が含まれているものと考えられており、その調査が待望されていたところでありました。

篠目家を訪れた当日、市史専門委員は、午前中から午後にかけて、よく保存されていた文書の調査に当りました。その結果十分なことは、今後の詳細な文書の解読を待たねばなりませんが、篠目八郎兵衛家文書には、江戸時代に名主をつとめていた関係から同家に保管されていた高浜村関係の文書類、そして、江戸時代から明治・大正時代にかけて同家が経営した水運業関係の文書が、数多く保存されていることがわかりました。

篠目家所蔵の江戸時代の高浜村関係の文書には、元禄十一年新治郡高浜村差出し帳、元禄十五年出州訴訟文書、享保、宝暦年間の御物成勘定帳、天明・文化・文政・天保年間の御物成勘定目録、宝暦十三年三月二十八日類焼記録・付明和三年三月十日出火見廻帳、安政三年正月十九日類焼記録などがあり、このほか、五人組宗門人別帳、田方反別帳、畑方反別帳など多くの文書があり、水運業関係の文書と共に、現在、コピーされ解読が進められており、石岡市史への寄与が期待されています。

なお、文書のほかに、外輪蒸汽船通運丸の高浜港寄港風景の写真、難工事であった常磐線高浜鉄橋建設工事の写真、常磐線開通当事の高浜駅や、高浜駅に停車中の蒸気機関車の写真など珍しい資料も提供を受けました。

さらに、篠目家の御好意により、小川芋銭が描き、同家が所蔵している、高浜の海と筑波山の絵を見せていただくことができた。篠目家には、千葉県銚子のあしか島に湖光庵という別荘がある。この湖光庵に、小川芋銭は、昭和八年から十年にかけて滞在した。この間に、高浜の篠目家を訪れ、筑波山の絵を描いている。同絵の箱書には、昭和九年二月と記されている。絵には、「筑波岳黒雲挂、衣袖漬国是也」（筑波岳に黒雲挂り、衣袖漬の国というは是なり）と、『常陸国風土記』の文章が記されている。

小川芋銭は、『常陸国風土記』が記す高浜の海・筑波山に想いを馳せながら、この絵を描いたものでしょう。

ともあれ、高浜の歴史を考える上で、貴重な文化財を見ることができたことは望外の喜びでした。

老人医療費・医療福祉費の受給者証

（有効期限が昭和五十五年六月三十日まで）を、まだ返還していない方は至急、市役所医療係までお返しください。

健康診断を受けましょう

日帰り人間ドック
国保が 10,000円 助成

■健診場所
（財）茨城県メディカルセンター
水戸市笠原町字上組489番地
電話　0292（43）1111

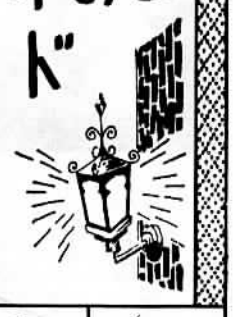
■費用（センター窓口払）
本人負担金……20,000円

■婦人で希望する方は実費（本人負担）で次の検査も受けられます。（木曜日のみ）
子宮細胞診・乳房診＝ 5,000円

■健診は希望日の10日前までに申込みを。

■問い合わせ、申込みは市役所保険給付係へ。
電話（3）1111　内線 223

くらしのガイド



市の木 けやき

市の花 ひまわり

市役所	(3)1111
市民会館	(2)5187
商工会議所	(2)4181
メディカルセンター	(4)1385

メディカルセンターだより

▼3ヵ月児健診
○9月3日（水）
○午後1時30分～2時30分
○対象児　昭和55年5月出生児

▼1歳6ヵ月児健診
○9月24日（水）
○午後12時30分～1時
○対象児　昭和54年3月出生児

▼3歳児健診
○9月17日（水）
○午後12時30分～1時
○対象児　昭和52年8月出生児

▼妊婦教室
○9月1日、8日、22日
○午後1時～4時

▼モシモシ赤ちゃん相談
○9月1日、8日、22日
○午前9時～午後4時
センターへ（四）一三八六

▼三種混合予防接種
日程は次のとおりです。

月日（1回目）	接種会場	月日（2回目）	接種会場	時間
9月1日(月)	関川公民館 三村公民館	9月22日(月)	関川公民館 三村公民館	午後1時30分～2時30分
9月2日(火)	高浜公民館	9月24日(水)	高浜公民館	
9月4日(木)	東地区会館	9月25日(木)	東地区会館	
9月5日(金)	市民会館	9月26日(金)	市民会館	

▼老人健康相談
○9月11日（木）老人憩いの家
○午前10時～午後3時

▼リハビリテーション
○9月5日、12日、19日
○午前9時30分～12時

▼マリッジスクール（婚前学級）
○9月1日（月）
○午前10時～12時

相談

▼市民相談――苦情相談
○毎週月曜～土曜（土曜正午迄）
○市役所市民相談室（秘書課）

▼市長相談
○9月2日　市役所市長公室
○午後1時～3時

▼困りごと相談
○9月5日、19日　市民会館
○午前10時～午後3時

▼交通事故相談
○9月19日　市民会館
○午前10時～午後4時

▼消費生活相談
○9月12日　市役所会議室
○午前10時～午後3時

▼国民年金・厚生年金相談
○9月5日　商工会議所
○午前10時～午後2時30分

▼義肢車いす装具等巡回修理
○9月24日
○午前9時30分～午後12時30分
○土浦社会福祉センター

"県政教室"に参加しませんか

県では、十八歳以上の県内居住者を対象に、バスでの県政教室を行います。

参加希望の方は、官製ハガキに、住所・氏名・年齢・性別・電話番号・職業（または勤務先）コース名・乗車場所を明記のうえ、次のところへ申込んでください。

なお、当日は小雨決行、参加者は昼食を持参ください。

▼申込先
〒三〇〇　土浦市真鍋五―一七―二六。県南地方総合事務所総合課企画調整班。

▼コース
九月十一日（木）〔第一・A〕
●牛久町役場――阿見町役場――石岡駅前（午前九時発）――県水産試験場――大洗魚市場――石岡駅前（午後三時五十分）
九月十八日（木）〔第二・C〕
●土浦駅前――石岡駅前（午前八時四十分発）――八郷町役場――真壁石材工業団地――県繊維工業指導所――水海道あすなろの里――土浦駅前――石岡駅前（午後四時十分）
九月二十二日（月）〔第三・B〕
●江戸崎町役場――阿見町役場――土浦駅前――石岡駅前（午前九時三十分）――県歴史館――県メディカルセンター――石岡駅前（午後三時三十分）

節水の標語ポスター入賞者決まる

湖北水道企業団では、小・中学校児童生徒による、節水に関する標語とポスターを募集しましたが、このほど入賞者が次のとおり決まりました。

▼標語（小学生の部）
〔金賞〕高浜小　奥田　里美
やめようね水の出しすぎ使いすぎ
石岡小　大山　一孝
ぽたぽたと永もれ蛇口を見のがすな
〔銀賞〕南小　勝原　典子
気をつけよう水の出しすぎ使いすぎ
東小　高橋　君枝
水一滴我が身のだいじな宝物
〔銅賞〕南小　細木原直子
やめましょう水もれポタポタむだな水
東小　佐藤　義博
水はわが身の命からぬようにこぼさぬように
関川小　小松崎直美
水は人間の命大切に使いましょう
（中学生の部）
〔金賞〕石岡中　増田　裕子
節水はわたしのひねる蛇口から
〔銀賞〕石岡中　遠藤ひろ美
たしかめよう蛇口のあけしめ水の量
〔銅賞〕石岡中　久保田雅光
小さな節水大きな節約

▼ポスター（小学生の部）
〔金賞〕島田純子（東小）、鈴木美架（杉並小）
〔銀賞〕長谷川裕邦（東小）、倉重和彦（南小）、関真奈美（南小）田上秀之（杉並小）、小松崎教子（関川小）
〔銅賞〕佐藤賢信（東小）、桜井憲一（杉並小）、冨田百合子（高浜小）

夏期は水不足が心配

夏期は、水源である地下水が低下するうえ、家庭等の水使用量が増大しますので、水不足が心配される季節です。

新しい水源の確保は、困難な問題となっているため、水を大切に使用して、節水にご協力をお願いします。

特に次の点にご注意していただきたいと思います。
○風呂水を洗濯に再利用する。
○蛇口を開いたまま洗面しない。
○洗濯はまとめ洗いをし、回数を減らし、すすぎ水を節約する。
○蛇口を開いたままものを洗わない。
○庭・植木への散水は最小限にする。

期待される新しいエネルギー開発 ⑧

水素燃料 "水"で自動車が動く？

無尽蔵にある水を利用する水素エネルギーの技術開発は、サンシャイン計画の中でも重要なテーマの一つです。

航空機の燃料に、石油に代えて液体水素を使おうという国際的な共同研究は、七年後の実験運航をめざして着々と進められています。

一方、自動車の世界でも、燃料に水素エネルギーを、という研究が各国の大学や企業でいっせいに開始されました。

"液体水素機"や"水素自動車"が実用化する水素エネルギー時代が、あと二十年もすればやってくるだろうといわれ、先進国は今、水素の効率的・経済的な製造技術の完成へ向けて、しのぎを削っているところです。

なぜ水素が、期待のこもった熱い目で見られるのでしょうか。理由の第一は、原料となる「水」がいたるところ無尽蔵にあること。そして、燃焼のさいに出る有害ガスがほとんどゼロのクリーン・エネルギーであること。水素を燃やしても水を生ずるだけで、大気汚染の"元凶"である窒素酸化物はほとんど生じない――などです。

ほかにも、着火性がよいことなどが多くの特徴を備えています。

一方、問題点もなくはありません。燃焼速度が速すぎるのでコントロールが意外に難しいこと。金属をもろくする性質があるので水素に強い容器を工夫しなくてはならないこと。密度が非常に小さいのでバカでかいタンクが必要なことなどです。

しかしこの点は、水素を吸収し、緩めると水素を放つ不思議な金属が発見されており、何とかすぐれた貯蔵法が見つかりそうです。

残る難題が、製造コスト。安く、水を水素と酸素に分解する方法はないものかと、世界中の科学者・技術者が知恵をしぼっているところです。

文芸いしおか

▼俳句の部
泉　醍醐　味風
噴水をのぼる考え遠夕焼
大谷津　海老沢ふみ
梅雨晴れや紺の農衣を高く干す
北府中一　野村畝津子
あとがきを先に読むせ雷ざます
府中二　柴野　あい
麻痺児負う母の歳月汗の階
府中二　鶴巻てい子
立山に雷鳥探る展望鏡
鹿の子一　桜井　俊郎
風に生く子等の声して葱坊主
泉　稲葉　禾春
芽木ふか～～ぐりきて舌青くなる
国府四　大場　和子
汗拭う母の仕草を子が真似る
若宮二　片岡　礼子
暁方の肩抱いている梅雨寒し

▼俚謡の部　題「開」
横田　柊花
胸を開いて与える乳房
木蔭涼しい蟬の声　石毛　芦影
合鍵を渡していつしか君は
ドアも心も開け渡す
今川志げ野
開っぴろげの草家が涼し
風も螢も通り抜け
大久保花蜂
敵は居ななと抜折戸開けて
今日も碁敵がやって来る
題「閉」　松本　富江
幼な友達故郷の山河
閉じた瞼の裏に浮く
佐藤　白扇
先が見えない北方領土
鉄のカーテン閉めたまま
原　とし
女一筋子故に生きて
人の噂にや戸を閉める

緊急診療所あんない（緊急を要する患者さんのみの診療です。）

休日緊急診療当番医日程（受付時間午前9時～午後3時30分 但し、歯科診療は午前9時～午前11時30分）

【9　月】

月日	診療科目	医療機関	所在地	電話
7日(日)	外科	根崎病院	国府四	(3) 6611
	産婦人科	松葉病院	府中二	(3) 2157
	内科(小児科を含む)歯科	メディカルセンター	杉並西	(4)1385・1386
14日(日)	外科	山王台病院	小川道	(6) 3130
	産婦人科	川並病院	府中二	(2) 3301
	内科(小児科を含む)歯科	メディカルセンター	杉並西	(4)1385・1386
15日(月)	外科	斉藤病院	東大橋	(6) 2131
	産婦人科	飯田医院	国府二	(2) 2268
	内科(小児科を含む)歯科	メディカルセンター	杉並西	(4)1385・1386
21日(日)	外科	滝田整形外科病院	府中二	(3) 2071
	産婦人科	松葉病院	府中二	(3) 2157
	内科(小児科を含む)歯科	メディカルセンター	杉並西	(4)1385・1386
23日(火)	外科	佐久間医院	府中二	(2) 2415
	産婦人科	川並病院	府中二	(2) 3301
	内科(小児科を含む)歯科	メディカルセンター	杉並西	(4)1385・1386
28日(日)	外科	青木医院	国府三	(3) 0221
	産婦人科	飯田医院	国府二	(2) 2268
	内科(小児科を含む)歯科	メディカルセンター	杉並西	(4)1385・1386

夜間緊急診療日程（受付時間午後7時～午後10時30分）
●休祭日とその前日のみの診療です。

月日	診療科目	診療場所
8月30日、31日 9月6日、7日、13日、14日、15日、20日、21日、22日、23日、27日、28日	内科（小児科を含む）	メディカルセンター 杉並西12927－3 電話(4)1385

おくやみ 6月届出

小松崎　あい　56
酒井　やす　84
長谷川　かく　80
高野　よし　78
上野　制吒　66
本多　力子　87
中島　フチ　77
中島　利治　54
鈴木　佐武　72
田上　次助　62
原田　ちかの　78
久米　由紀子　46
長峰　平　29
石川　なみ　65
浜野　武夫　72
遠藤　了　32
大和田　安之助　76
大月　キハ　83
川村　しも　70
高橋　みせ　83
秋山　よし　84
宮田　民四郎　76
八木　国府三
国府四
国府二
国府二
国府四
山王台
山王台
三村
三村
大和
高浜
六軒西
六軒東
鹿の子一
小目代
北府中一
北府中一
若宮一
府中四
行里川
北根本